

1. 単元名 「ぼくらA地域っ子スクールガード」～協同して安全な生活をめざす活動～

2. こんな子どもだから

- 本学年の子どもたちは、1学期、公民館の秘密を調べ、館長の願いに共感し、よさを広める取組を行うことができた。その経験から、地域の人・もの・ことに興味関心をもち、人とかかわりながらさらに学習を進めたいと意欲をもっている。また、高速道路や新幹線の高架が通る広い道路と、昔ながらの狭い路地が入り組む校区に住む割に、交通安全に対する意識が低く、子どもの目線で安全について学ぶことは、大きな課題となっている。 **【主体的・創造的な態度】**
- 子どもたちは、これまでの学習で、教師の支援のもと、自分の課題に沿って調査活動を行い、伝えたいことを決めて表現したり、互いのよいところを見つけながら交流したりしてきた。しかし、互いの調べたことや考えから共通点を見つけて全体の課題としたり、伝えたいことがより伝わるような表現方法を選んだり、互いの考えについて理解を深めるような活発な対話のある交流を行ったりすることについては、十分ではない。 **【問題解決にあたっての学び方】**
- 子どもたちは、地域の安全を守ろうと願いをもって活動をしている人が存在することには気付いている。しかし、その願いに共感し、地域の一員として、自分にできることを進んで行動に移すまでには至っていない。 **【自己の生き方への自覚】**

3. こんな教材で

- ① **本質性**
安全という視点から校区を見つめ直し、安全に生活するために自分たちにできることを考えていく中で、地域でいつも見守ってくれている人の存在に気づき、自分たちも地域の一員だと実感できると考える。
- ② **課題性**
友達や地域の人との協同的な活動の中で、試行錯誤したり繰り返し体験したりしながら、安全に生活する方法を見つけることで、有能感が得られると考える。
- ③ **発展性**
安全に生活する方法を広める活動をすることで、今まで地域の人に見守られてきた自分が、今度は地域のために役立てたという有用感をもつことができるであろう。その経験が、これからも進んで地域とかかわろうとする行動につながる点からも、価値のある教材であると考ええる。

4. こんな支援で

- 探究の過程が繰り返される単元構成の工夫**
○ 道路の安全や危険について調べる活動、調べたことを表現して広める活動、「A地域っ子スクールガード」としての活動を3つのサイクルとして、学びを深めることができるようにする。
- 協同的に学ぶ場の工夫**
○ 友達、地域の人と繰り返し関わることで、課題に対する情報を多様に収集できるようにする。
○ 友達との交流では、異なる視点や考えの中から、共通点を見つけて整理・分析する場を設けることで、次の課題を設定できるようにする。
- 学ぶことの有用感を見てとれる評価の工夫**
○ 自己評価カードや相互評価の方法を工夫することで、自分の伸びを感じ、互いのよさを認め合うことができるようにする。
○ 他学年や地域の人、保護者に、活動を評価してもらうことで、有用感をあじわうことができるようにする。

5. こんな子どもに

- A地域の危険な場所や安全に生活する方法、そして安全を守っている人に関心をもち、くり返しかわりながら、自分の課題を見つけ、その解決に向けて最後まで追究することができる。 **【主体的・創造的な態度】**
- 調べたことや考えから共通点を見つけて全体の課題としたり、伝えたいことがより伝わるような表現方法を選んだり、互いの考えについて理解を深めるような活発な対話のある交流を行ったりすることができる。 **【問題解決にあたっての学び方】**
- 「A地域っ子スクールガード」として、安全に生活する方法を広めることで地域の役に立てたという有用感もち、これからも、地域の一員としての自覚をもって安全に生活することができる。 **【自己の生き方への自覚】**

6. 学習活動計画（計34時間）

配時	問題解決の学習過程	支援	評価
5 ③ ① ① 本時	1. 校区の道路の安全について考える。 (1) 校区の道路の安全や危険について調べる。 ○ 自分の体験や聞いたこと, 見たこと ○ 学校の周辺の調査 (2) 調べたことをカードや地図にまとめる。 (3) 学習の共通課題について話し合う。 ○ スクールガードの人の話を聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">課題1 A地域っ子スクールガードをめざして、道の安全やきけんについて調べよう。</div>	※ 校区の道路の安全や危険について、自分の体験や聞いたこと, 見たことをまとめたり, 実際に学校周辺の様子を調査したりして, 校区の道路の安全性について関心をもたせるようにする。 ※ ゲストティーチャーの話聞くことで, これからの学習に意欲をもたせるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地図やカードに整理しながら, 校区の危険な場所に関心をもつことができる。
2 ① ①	2. 自分の課題を作り, 活動の計画を立てる。 (1) 自分の課題を決める。 (2) 活動の計画を立てる。 ○ 危険度調べの方法 ○ 自分が学ぶ地域の人	※ 自分の登下校や生活でよく使う場所を選ばせ, 繰り返し様子を確かめられるようにする。 ※ 活動計画を立てることで, 何を調べ, どんな活動をし, 誰に学ぶのかを明確にできるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の課題を決め, 具体的に活動の計画を立てることができる。
6 ③ ① ②	3. 自分の課題の解決に取り組む。 (1) 計画に基づき, 危険度調べをする。 ○ 現地での調査 ○ 学校の校庭での再現調査 ○ 地域の人からの聞き取り調査 など (2) 中間交流会をする。 ○ 同質グループで, 情報交換をする。 ○ 教師との「そうだんタイム」 (3) さらに追究する。	※ できるだけ実際に再現したり現地データを取ったりして, 安全や危険を実感できるようにする。 ※ 交流することで, 自分や友達の良いところや課題を整理し, 再追究に意欲をもたせるようにする。 ※ 安全を守るもの(信号, 標識など)についての情報も収集するよう助言する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の人とかかわりながら, 課題に合わせた調査を行うことができる。 ・ グループで対話しながら, 次の活動のめあてと見通しをもつことができる。
5 ② ② ①	4. 調査報告会をする。 (1) 調査報告会の準備をする。 ○ 教師との「そうだんタイム」 (2) 調査報告会をする。 ○ 自分の調べた場所の安全や危険について, 報告し合い, 共通点を確かめ合う。 (3) 新しい課題について話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">課題2 「A地域っ子安全ブック」を作って, 調べたことを広めよう。</div>	※ 調べたことが伝わるような報告の仕方を, 個別に助言する。 ※ 別の場所を調べた友達とも, 気をつけるべき危険には共通点があることに気付くようにする。 ※ 活動のよさや気付きの共有により, これまでの活動に有能感をもち, よさを広めるこれからの活動への意欲をもつことができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調べたことを伝えるための表現方法を工夫することができる。 ・ 互いの活動のよさや気付きを共有し, 次の活動への意欲をもつことができる。
2 ① ①	5. 自分の課題を作り, 活動の計画を立てる。 (1) 自分の課題を決める。 (2) 活動計画を立てる。 ○ 「A地域っ子安全ブック」の見直し ○ 自分が学ぶ地域の人	※ 安全に生活するために大切だと考えたことを課題に設定し, それを広めるために計画を立てることができるように助言する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全な生活の仕方を広めるために, これまでの学びを生かしながら安全ブックを作ろうとすることができる。
6 ② ① ③	6. 自分の課題の解決に取り組む。 (1) 計画に基づき, 安全ブックづくりをする。 ○ 現地での再調査 ○ 本やインターネットからの情報収集 ○ 地域の人からのアドバイス など (2) 中間交流会をする。 ○ 同質グループで, 情報交換をする。 ○ 教師との「そうだんタイム」 (3) さらに追究し, 安全ブックを仕上げる。	※ 課題1で調査したことを活用しながら, 具体的な提案になるよう, 個別に支援をする。 ※ 交流することで, 自分や友達の安全ブックのよさや課題を整理し, さらに改善する意欲をもたせるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループで対話しながら, よさや不十分さに気付くことができる。

<p>4 ③ ①</p>	<p>7. 「A地域っ子安全ブック」発表会を行う。</p> <p>(1) 課題1と課題2でわかったことをまとめ、発表会の準備をする。</p> <p>(2) 「A地域っ子安全ブック」発表会を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年児童，保護者，地域の人に向けて，これまでの活動でわかったことを伝える。 ○ 「A地域っ子スクールガード」として認めてもらう。 	<p>※ 作成した安全ブックをもとに，伝えたいことが伝わるような発表の仕方を工夫させるようにする。</p> <p>※ 他学年児童，保護者，地域の人に，活動を評価してもらうことで，有用感を味わうことができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手意識をもち，効果的な表現方法を工夫することができる。 ・ これまでの学びを確かめることで，有用感をもつことができる。
<p>4 ① ① ②</p>	<p>8. 学習を振り返り，これからの生活について話し合う。</p> <p>(1) 学習の振り返りをし，これからの課題について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>課題3 「A地域っ子スクールガード」として活動を続けよう。</p> </div> <p>(2) 自分の課題を立て，冬休みに実行する。</p> <p>(3) 活動の振り返りをし，これからの生活について話し合う。</p>	<p>※ 安全に生活するために自分のできる活動を考え，実行することで，自分の成長に気付き，これからも生活に生かしていこうとする意欲をもたせるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ これからの生活に生かせることを具体的に計画し，実行することができる。

7. 本時（5／34）

平成22年9月 日（ ） 校時 教室にて

8. 本時の目標

- 校区の安全や危険について調べたことを話し合い整理することで，これからの学習の共通課題を立てることができる。 【問題解決にあたっての学び方】

9. 本時指導の考え方

これまで子どもたちは，地域の道路の安全や危険について，自分の体験や聞いたこと，見たことをカードに書いてまとめたり，校区地図にシールを貼って場所や数を確かめたりする活動をする中で，校区の道路の安全や危険について関心をもってきている。また，実際に学校周辺の交差点の調査活動を協同して行ったことで，安全や危険が同時に存在していることについても気付いてきている。本時は，これまで集めた情報を整理し，共通課題を立てることで，これからの学習に意欲をもたせることをねらいとする課題設定の場面である。

そこで，まず，学校周辺の交差点の調査で，気付いたことについて，自分の考えをまとめたカードをもとに話し合う。ここでは，同じ場所においても，安全であると感じたり，危険であると感じたりすることがあることに気付かせていく。また，この共通の調査で出てきた観点に，これまで情報を収集していた自分の体験や見たこと・聞いたことを重ね合わせて話し合うことで，それぞれの場所に安全と感じるものと危険とを感じるものがあるという共通点に気づき，人や車の通り方にも問題があるのではと仮説を立てて，さらに詳しい調査をしていきたいという意欲につなげていきたい。

さらに，スクールガードの活動をしている地域の人に，話し合いを聞いていて感じたことや地域に対する願いを語ってもらったり，また，この学習を進めた後には「A地域っ子スクールガード」として一緒に活動してほしいという提案を受けたりすることで，自分たちの活動が地域の役に立てる価値あるものだということを確信することは，これから課題を探究する際の原動力となると考える。

10. 準備

- （教師）校区地図 前時までの学習を整理した掲示物
- （児童）学習ファイル，自己評価カード

1 1. 展開

学習活動と内容	評価規準	支援		
<p>1. 前時までの学習を想起し、本時学習のめあてを確認する。 本時のめあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>校区の道ろについて調べたことを整理して、 これからの学習の課題を決めよう。</p> </div> <p>2. 調べたことをもとに、校区の道路の安全と危険について話し合う。</p> <p>(1) 学校周辺の交差点の調査で気付いたことについて確かめ合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>C 交差点</p> <p>安全</p> <p>信号、横断歩道 広い歩道 ガードレール</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>危険</p> <p>車が多い(2車線) 車が速い わき道がせまい</p> </td> </tr> </table> </div> <p>(2) 校区の道路の安全や危険について、これまで調べたことについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ B 交差点も信号や横断歩道があって安全なようだが、飛び出し注意の看板で危険を知らせていた。 ○ どの交差点でも、安全と感じるものと危険とを感じるものがあった。 ○ 人や車の通り方で、安全な場所も危険になるのかもしれない。 <p>3. 地域の人(スクールガード)の話聞いて思ったことを話し合い、課題を決める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>G T の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の安全を守りたい。 ○ 道路の安全や危険について調査してほしい。 ○ 交通に関することについて知ってほしい。 ○ この学習を進めて、「A 地域っ子スクールガード」として活動してほしい。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>課題 1</p> <p>「A 地域っ子スクールガード」をめざして、 道ろの安全やきけんについて調べよう。</p> </div> <p>4. 自己評価カードを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 校区の道路の安全や危険について話し合うことができたか。 ○ これからの活動に意欲をもつことができたか。 <p>5. 教師の話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの学習への価値付け・賞賛 ○ 次時の学習の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>今日の学習では、A 地域の道路には安全も危険もあることに気付いたり、スクールガードの方の願いを知ったりできましたね。(賞賛) さらに学習を進めることで、「A 地域っ子スクールガード」になれそうですね。(価値付け)</p> <p>次の時間は、これからどんな場所をどんな方法で調べるのか、自分の課題を決めましょう。(次時の学習の確認)</p> </div>	<p>C 交差点</p> <p>安全</p> <p>信号、横断歩道 広い歩道 ガードレール</p>	<p>危険</p> <p>車が多い(2車線) 車が速い わき道がせまい</p>	<p>【観点】 問題解決にあたっての学び方</p> <p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 調べたこと比べて共通点を出し合ったり、ゲストティーチャーの話を聞いて思ったこと話し合ったりして、これからの課題を明確にすることができる。 <p>【評価方法】 表情・発言・自己評価カード</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 共通の場所についての調査活動を行い、前時までに、安全と危険について、学習プリントにまとめて、自分の考えが出しやすいようにしておく。 ○ また、自分の体験や見たこと・聞いたことをカードにまとめたり、校区地図にシールを貼って場所と数を確認したりすることで、校区の道路の安全や危険について気付かせておく。 ○ 話し合うことにより、道路の安全や危険には共通点があることに気付かせ、さらに調査をしていこうとする意欲をもつことができるようにする。 ○ ゲストティーチャーの話を聞くことで、地域の人的心愿を知り、これから行う学習の価値に気づき、意欲をもつことができるようにする。
<p>C 交差点</p> <p>安全</p> <p>信号、横断歩道 広い歩道 ガードレール</p>	<p>危険</p> <p>車が多い(2車線) 車が速い わき道がせまい</p>			

